



愛知長久手ロータリークラブ

2018-2019

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」
 会長 奥野悦弥 幹事 伊藤広治 会報 青山和成
 Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446
 FAX:0561-64-5459



インスピレーションになる



本日 第 745 回 2019 年 4 月 21 日(日曜日)737 号

<本日のプログラム> Today's Program

親睦家族例会

木下大サーカス

開演: 15:40~

- ◇ 点 鐘
- ◇ ロータリーソング

前回 第 744 回例会 2019 年 4 月 16 日(火曜日)記録

<出席報告>

員 総 数 17 名

出 席 者 9 名

出 席 率 76.47%

前々回補正出席率

70.59%



<会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ

会長エレクト 中川 清子

皆さん、こんにちは。

本日は奥野会長が欠席の為、急遽会長エレクトの私をご挨拶させて頂く事になりました。

今回のテーマは一昨日行われた「地区協議会」での出席者の発表となり、3名がお話しします。

本日はこの例会場をお借りした、瀬戸北 RC の会長・幹事様が御多忙中にも関わらず、お越しいただき、感謝すると共に、例会場をお借りしたお礼も申さねばなりません。ありがとうございます。

では、臨時会長の挨拶はこの位として進めて頂きましょう!!

<幹事報告>

- ① 次回例会 4/21(日)は親睦家族例会になります。ご案内の通り集合時間 15:10 までにお集まりください。親睦家族例会後の 4/30(火)・5/7(火)例会は、同週祝日振替休会になります。休会後の例会は、5/14(火)はトヨタ博物館 12:30-13:30 になりますのでよろしく願いいたします。14 日は例会終了後、第 11 回理事役員会がございますので理事役員の方はよろしく願いいたします。
- ② 5/28(火)名古屋城北 RC 合同例会の件、名古屋城北 RC よりご案内が届き次第ご連絡させていただきます。
- ② 本日 2019-20 年度各委員会事業計画をお渡ししております。各委員会委員長は 5/14(火)までにご記入いただき、メール・FAX にてご返信お願いいたします。
- ③ 事務局 GW 休暇の件ですが、ガバナー事務所同様 4/27~5/6 の間お休みになります。

<委員会報告>

■ニコボックス委員会■

- ・本日は瀬戸の地までようこそお越し下さいました。2名だけですが例会にお邪魔
させていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。
瀬戸北 RC 会長加藤雅人 幹事伊藤敦司
- ・瀬戸北 RC 加藤会長、伊藤幹事ようこそ。皆さん地区研修協議会ご苦労様でした。
伊藤広治
- ・本日も宜しくお祈いします。
富田盛義
- ・ようやく暖かくなりましたね。本日は瀬戸北 RC さんの例会場をお借りしての例会です。
中川清子
加藤会長・伊藤幹事お世話になります。地区協議会報告よろしくお願い致します。
- ・瀬戸北 RC 加藤会長・伊藤幹事お世話になりありがとうございます。
山田文明
- ・瀬戸北 RC 加藤会長、伊藤幹事ようこそお越し下さいました。本日も宜しくお祈い致します。
青山和成
- ・本日も宜しくお祈いします。
伊藤 真
- ・瀬戸北 RC 加藤会長、伊藤幹事ようこそお越し下さいました。皆様本日も宜しくお祈い致します。
神谷恵理

<卓話>

「2019-20年度 地区研修協議会報告」

各委員会委員長

地区研修・協議会 第1分科会

会長 中川清子

4月14日(日)は、国際ロータリー2760地区、2019～2020年度の「地区協議会」が豊川宝飯ロータリークラブのホストで、ウェスティンナゴヤキャッスルにて、11時30分～17時まで開催されました。

友愛の広場での昼食のあと、13時より地区研修協議会がガバナーエレクトの伊藤靖祐さんの点鐘により始まりました。村井ガバナーのあいさつ、伊藤ガバナーエレクトの所信表明などの本会議につづき、各分科会に分かれて、各々の属する分科会にて勉強会が始まりました。

私は、会長として第一分科会に出席し、第一は会長・幹事・会長エレクト・副幹事・会計・クラブ戦略・会員増強委員と只に、スライドを交えたガバナーエレクトや地区増強委員長のお話を聞きました。

★特別講演として

ゲストとして野々市ロータリークラブから、柳生好春講師がみえて「何故、今公共イメージと知識度の向上か」の題目でお話しされました。

- 1、今、R1は共同体から機能体へ変化している。
- 2、ガリレオ・ガリレイは、「人に物を教える事は出来ない。その人の気づきを助ける事だけだ」と言った。

R1が求める行動(Concept,Idea)は

- (1) Connect = つながる
- (2) Transform = 変革する
- (3) Inspire = 鼓舞する
- (4) Impact = 衝撃
- (5) Together = 一緒に

※2019-2020年度 R1 会長テーマ※

マーク・ダニエル・マローニー

クラブはロータリーでの活動が中心部ですが、今のクラブのあり方を、より創造的かつ柔軟性をもって決めることが出来る。

これは例会の方法や、何をもって例会とするかを検討することが含まれる。

会員増強のアプローチにおいては、組織立った戦略的、革新的な方策が必要。

地域社会とのより広く、深いつながりができるだけではなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことが重要。

※2019-2020年度 伊藤年度 地区方針※

ロータリーの持続可能性は、その中にどれほどの柔軟性を包摂できるかに依存する。

ロータリーの5つの中核的価値観をベースに「知的多様性」と「革新的柔軟性」を取り入れる。お互いの違いを超え、深く意義あるかたちで繋がりを地域に発展させ、職業上のネットワークを広げる。

☆ 『ロータリーの理念の構造』

- ・ロータリーの基本をなすもの＝「中核的価値観」
- ・それを行動に表わすもの＝「ビジョン声明」
- ・ビジョン声明を具体的に展開するもの＝「戦略計画」

(1) 中核的価値観とは？

親睦 (Fellowship) 高潔性 (Integrity) 多様性 (Diversity) 奉仕 (Service) リーダーシップ (Leadership)

(2) 『ロータリーのビジョン声明』

私達ロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために人々が手をとり合って行動する世界を目指しています。

(3) 『R1 戦略計画』4つの優先事項

- ・より大きなインパクトをもたらす。
- ・参加者の基盤を広げる。
- ・参加者の積極的なかわりを促す。
- ・適応力を高める。

☆ 『ロータリーを成長させるために』

「変えてよいこと！変えてはいけないこと！」

キーワード

知的多様性

革新的柔軟性

(戦略計画：適応力を高める)

☆ 『変化を導く = Leading Change』

変化に向けた計画における下記の5つの要素が揃っていることが、変化の導入を成功させるカギとなる。

- (1) 変化に向けた計画の「ビジョン」が明確に伝えられていない。
- (2) 変化を受け入れるための必要な「スキル」が備わっていない。
- (3) 変化を取り入れることへの「見返り」(Reward)がない。
- (4) 「リソース」(人材・情報・資料等)が提供されていない。
- (5) 変化を取り入れるための各段階について明確な「行動計画」がない。

といった濃い内容のお話を聞き、色々と感銘を受けました。

来期会長として、なすべき事を改めて、深く考えなければとの想いを強くして、降り出した雨の中、会場を後にしました。

地区研修・協議会 第2分科会

クラブ奉仕委員長 大島昭夫

・クラブ運営について

① クラブでの会員研修についてのお話 (東山 RC 早川和男)

クラブ内での研修を活発に実施してほしい

・クラブを楽しくするには

人を幸せにすることで自分も幸せになる

人とコミュニケーションすることが楽しくなる

礼儀正しく、時間を守る

社会的な有名な人との接触が出来るといった様なそんな環境を作るのがクラブ奉仕委員の務め

② 新会員を放置しているのではないかと

- ・期待して入会したが、こんなはずではなかった
- ・断れない人が誘ってくれたから
- ・会社で継続的に入会しているから等々

↓

こんな人が退会につながる

↓

クラブ内でのコミュニケーション親睦が大切

・クラブ奉仕の役割について（犬山 RC 日比野万喜男）

クラブ奉仕委員長・副会長・親睦活動委員長それぞれの役割を明確にすること

・クラブ奉仕について（名古屋北 RC 岡 節緒）

・クラブ例会について（江南 RC 古田嘉且）

それぞれからお話が有りました。

地区研修・協議会 第3分科会

公共イメージ向上委員長 奥野悦弥

*テーマ「公共イメージ向上委員会の役割」

○公共イメージ向上委員会の基本方針

ロータリークラブの認知度を上あげること、ロータリークラブのイメージ向上を図ること・・・それには、ロータリークラブを内外に知ってもらうことが重要である。そのための計画・立案を推し進める。

(1) マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞等）へのアプローチ

(2) ソーシャルメディア、HP(地区、クラブ)、SNS（Facebook 等）の活用

1. 積極的なマスコミの活用方法について

マスコミの活用については、パブリシティ活動が重要で、ロータリークラブからのマスコミへの情報提供（プレリリース）を積極的におこなう。また、マイロータリーを活用し、地区に連絡あれば地区からもマスコミへの対応をおこなう。

2. マイロータリーの活用

マイロータリーの登録は、2760 地区は 34.01%で全国平均より高いがより一層の登録をお願いしたい。マイロータリーには、様々な機能があるのでそれを活用し、イメージ向上のアップを図る。登録で分からないことがある時は地区からも応援する。

3. 地区ホームページとアプリ

① 地区ホームページ

モバイル対応になりより使いやすくなった

② 地区アプリケーション

地区からスムーズに情報を伝達する為にアプリケーションを導入予定。これにより地区からの情報をダイレクトに取得できる。

③ 地区事務連携システム（DCS）の7月からの運用

月次出欠の報告の効率化

行事出席の手続きの効率化

4. WFF の協力と「ロータリーの友」への投稿のお願い

19-20 年度 WFF（10 月 12 日・13 日）の広告協賛とチケット購入のお願い

イメージ向上の為に「ロータリーの友」への投稿のお願い

社会奉仕活動には3つの目的があります。

1つ目は社会奉仕です。

これは単純に社会に奉仕する事を言います。

2つ目はRCCです。RCCとは地域共同体とは言って地域の皆さんと共にロータリーがバックアップした立ち上げる組織の事です。

そして3つ目は環境保全となる3つの目的から作られています。

社会奉仕では各クラブの奉仕を確認して報告と方向を共有していきます。

RCCでは地域と共に奉仕の活動を協力して大きくしていつか自律させてあげられる共同事業をめざします。

環境保全では愛知県と共に地域の植物や生き物の命を永く生息させて行ける様に手助けしていきます。

これをもって社会奉仕活動とします。

地区研修・協議会 第4分科会

国際奉仕委員長 大月涼子

地区協議会に出席して—国際奉仕委員会

国際奉仕には6つの重点分野があります。

- ① 平和と紛争予防・紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率の向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

各クラブで取り組みやすいのは、②～④だと思います。総額30,000ドル以上である事が条件です。

グローバル補助金を利用して、海外クラブのサポートをお願いします。という事で、補助金申請の手続き等を学びました。2760地区国際奉仕事業報告があるので回覧して頂くと良いでしょう。

地区研修・協議会 第5分科会

(代) 職業奉仕委員長 伊藤広治

次期地区職業奉仕委員長 鋤柄喜彦

パネルディスカッション 鋤柄喜彦 小川耕示 青山博徳

本田宗一郎、渋沢栄一 etc、偉大な経営者の言葉には職業に対する深い思い入れや社会性やサービスを語る言葉が多くあり、職業奉仕の考えを解いてくれている。

職業奉仕の考えは当時の詐欺や賄賂等の荒んだ市場より、本当の信頼のおける取引先、仲間をつくること、また仕事に対する高い倫理基準や高潔な精神を広めるために作られた。

グループディスカッション、東尾張分区12RCにて活動事例

- ・ 公共施設訪問によりイメージ、広報活動も兼ねる
- ・ 会員の取引先企業訪問、紹介、卓話 増強活動
- ・ 市内小学校訪問 防犯の啓蒙活動

地区研修・協議会 第6分科会

R 財団委員長 白石政二郎

2019年4月11日ホテルナゴヤキャッスルに於いて地区研修・協議会が開催された。第6分科会にて

2019-20年度ロータリーの年次目標私たちロータリアンは、世界で地域社会でそして自分自身の中で継続可能な良い変化を生む為に、人びとが手を取り合って行動する世界を目指す。

【ロータリービジョン声明】

優先事項1の目標：人びとが手を取り合うのを促す

- ① クラブ地区内のリーダーの積極的参加を促すプロセスを強化する
- ② 既存会員を維持しつつ、さらに入会を促進することで、クラブ会員の増加を図る
- ③ 新しいクラブを結成する
- ④ 女性会員や40歳未満の会員の入会、又はロータリーアクトのロータリークラブへの入会を促し、会員増改を図る
- ⑤ インターアクト・ロータリーアクト、ロータリークラブ会員間及びほかのロータリー活動の参加者間の積極的参加・協力を強化する

優先事項2の目標：行動する

- ⑥ ポリオ撲滅活動においてロータリーとロータリアンが果たしている役割を広く伝える
- ⑦ 地区財団活動資金(DDF)を十分に活用する事で、地域補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センターの資金として地域社会及び海外でのプロジェクトを増やす。
- ⑧ 年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、2,025年までに恒久基金を20億2500万ドルまでに成長させる
- ⑨ ロータリーへの認識を高め、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進する。

【日本の2019-20年度の財団目標について】

ロータリー財団の新しい補助金制度がスタートしてから6年が経過し、補助金を活用してプロジェクトも次第に活発になってきている一方、DDFの繰越額に注目して、ロータリー財団の資金の流れを活性化する事で、財団の存在価値が一層高く認識されるようになることと思われる。このような一連の流れによって財団寄付の重要性の理解が進むことが期待される。

日本のロータリアンの結束で年次基金寄付ゼロクラブ0を目指しましょう。

昨年度の実績を踏まえて話し合う結果次年度の日本の目標

- 年次基金 ・一人当たり 150ドル
- ・年次基金寄付ゼロクラブ0達成を継続する

- イ. ポリオプラス基金 ・一人当たり 30ドル
- ロ. 恒久基金 ・冠名基金を各地区1件以上設立
- ハ. 大口寄付 ・寄付の種類に関わらず、1万ドル以上の寄付を日本全体で100件
- 二. DDFの活用
 - ・DDFの20%をポリオプラスへの寄贈
 - ・ロータリー平和センター、重点分野への寄贈
 - ・「日本ロータリー平和センター基金(E11659)の累計が、150万ドルに達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー1名を支援できる。
 - ・DDFの20%をポリオプラスへの寄贈した地域と1500ドル以上の寄付したクラブには、財団から感謝状が贈られます。
 - ・各地区がDDFを使い切る
- ホ. 補助金活動
 - ・グローバル補助金 ・地区補助金の活用の促進
 - ・ロータリー平和フェローシップの推進

☆「ポリオプラス基金」は、DDF寄贈、DDF寄贈に対するWFからの上乗せとビル&メリンダゲイツ団体からの1億ドルのマッチングも含まれます。

地区研修・協議会 第7分科会

青少年奉仕委員長 山田文明

青少年奉仕は「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて

青少年ならびに若者によって、好ましい変化をもたらせる事を認識するものである」とされています。

指導力養成活動がRYLAセミナーを毎年開催するRYLA委員会、社会奉仕および国際奉仕プロジェクトに参加を具体化しているのがインターアクト、ローターアクトの両委員会、世界平和と異文化の理解を深め育む青少年交換委員会が役割を果たしています。

地区青少年委員会は、地区青少年奉仕関連4委員会独自の活動に加えて相互の活動理解の場として、「青少年

フォーラム」を本年度は地区大会と同時に開催し、また地区事業である「ワールドフードふれ愛フェスタ」にも、委員会を挙げて、積極的に参加、チャリティーバザーブースの出店、場内清掃などを実施予定しております。近年ロータリーに係る、多くの青少年たちが交流できる場を提供し、学友同士がもっと盛んに横の繋がりを知ってもらい、ロータリーの青少年事業を通じてロータリーのファンを増やす取り組みを始めました。

2760 地区の青少年委員会では一年間で 900 名以上の参加者が有り、これは日本 34 地区のなかでも一番多いのですが在籍年数が平均 3 年以内の人が多いのが現状の悩みでも有ります。

インターアクトは、地域における奉仕活動を通して下記の重要性を学び、さらなる意識の高揚を育みます。

- ① 指導力とその誠実な人格の育成（リーダーシップ）
- ② 他者を助け、他者を尊敬することの大切さ（思いやりの心）
- ③ 各人の責任をはたし、懸命に努力することの尊さ（責任感、人間力）
- ④ 国際理解と親善の推進（国際感覚）

ロータリーアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進する為の機会を提供することにあります。目標として次の通りです。

- ① 専門技術及び指導力を開発することに
- ② 他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
- ③ 若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
- ④ 提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供すること。
- ⑤ ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。

RYRA 委員会 RYRA とは rotary youth leadership awards（ロータリーによる青少年指導者養成プログラム）

RYLA セミナーは毎年開催されて、年齢 16 歳から 30 歳までの「高校生部門(インターアクト・青少年交換留学生を含む)」「大学生・一般社会人部門（ロータリーアクト・米山留学生を含む）」

そこに、ロータリーファミリー以外の一般高校生・大学生・社会人も参加、出来る研修会を行っています。次世代を担う若者にリーダー育成機会を与え、これからの地域・団体・職場を牽引していくためのきっかけ作りになり、「RYRA セミナーの奉仕の理念を理解し、共に行動していきたいです。

地区青少年交換委員会

ロータリーの青少年交換プログラムは RI のルールに基づき海外のロータリークラブと 1 年間の長期交換留学事業を行い、各国のロータリークラブ同士がそれぞれの地域の高校生を海外に派遣すると共に派遣先から高校生を受け入れて相互に交換するプログラムです。主催及び責任はロータリークラブですが

ロータリーの世界組織である国際ロータリーにおいても公式なプログラムと位置づけられ世界規模で行われています。

このプログラムは、ロータリーを通じて、ホームステイや派遣先の地元の高校に通い外国の文化や言葉、風習などを学びます。また、外国での生活体験をすることにより、それらを理解して国際感覚を身に付け国際相互理解と世界平和の推進を図るものです。

派遣生は日本と外国との「友情の架け橋」を築くことで派遣先の文化や風習を体験もしますが、自国の文化などを紹介して「国際親善大使」として活躍してもらおうものです。

RI2670 地区では 1968 年より毎年 10 名程度の高校生が 1 年間交換留学をしています。しかしながら現実として各々の問題点も出ています。

- ① スポンサーロータリークラブの不足、ロータリアンの高齢化によりホストファミリーの不足、受け入れクラブの経済的負担（地区から毎月 5 万円、学校費用はクラブ負担）
- ② 派遣の高校生の中には、必ずしも日本を第 1 希望でなかった学生や自己主張が強い学生、集団生活になじまない学生もいます。

2019-20 年度の伊藤ガバナーのテーマ「グローバルに考え、地域社会とつながり、ロータリーを成長させよう」に基づき、今年度は「国際社会とのつながり」を主に考え進めていきたいと思えます。

地区研修・協議会 第 8 分科会

(代) 米山記念奨学委員長 近藤鋭雄

1 リーダー挨拶（山田直樹氏）

- ・奨学生の数は、寄付金の額及び寄与率（会員中寄付者数の割合）による。
- ・奨学生は、例年延べ 5 0 名弱程度であるが、今期は 1 0 0 名超の者が面接を受け 3 7 名が合格した。
- ・面接のポイントは、ロータリーの理念を理解しているか、ロータリーと将来とも活動できる者か等である。
- ・奨学金制度は、日本独自の制度である。

2 寄付増進について（小栗正章氏）

- ・奨学金の財源は寄付金で、本部において直接運用（ローリスク、ローリターン）している。
 - ・米山記念奨学委員長の役割は、奨学事業の理解促進・寄付増進・奨学生、学友との交流促進と広報である。
 - ・奨学生のいない委員長も、地区行事に参加されたい。
 - ・17・18年は奨学生が増加した。国別で多いのは、中国・韓国・台湾で70%を占めている。
 - ・17-18年度の本地区の寄付実績は、寄付者の割合29%、平均寄付額13,493円である。
- 目標は、寄付者の割合80%、平均寄付額20,000円である。

3 奨学生の選考について（青山稔氏）

- ・6～7月に奨学生数と指定校を決め、募集を開始し、10月に申し込みを受け付け、その後書類選考と面接を実施する。
- ・評価は、絶対評価である。
- ・面接官には、オリエンテーションを実施している。

4 世話クラブの役割について（大橋均氏）

- ・奨学生を月1回以上例会に招待し、その際、奨学金を手渡しする。
- ・クラブ行事に招待し、コミュニケーションを図る。
- ・パワハラ・セクハラは、受けた者の感覚で判断されるので、言動に十分注意されたい。



第1分科会 中川清子



第5分科会 伊藤広治



第7分科会 山田文明

4月30日(火)	5月7日(日)	5月14日(火)	5月21日(火)
同週祝日振替休会	同週祝日振替休会	祝福・クラブフォーラム (トヨタ博物館)	規定休日